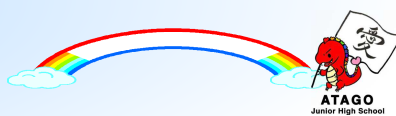




愛宕中だより

喜堵愛楽 E I S

：個が生き、七色に輝くしあわせな学校



R06.4.16 No.1

守谷市立愛宕中学校

校長 片岡正美

愛宕中学校の校長 片岡 正美です。愛宕中学校でのできごと、みんなで大切にしていきたいこと、考えなど・・・「愛宕中だより」として発信していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。令和6年度がスタートし、愛宕中学校の新しい日々が始まりました。137名の1年生が入学し、457名の2・3年生の生徒の皆さんと45人の先生方、合わせて502名、みんなで力を合わせて、みんなが過ごしやすいあたたかな愛宕中学校を創っていききたいと思います。

愛宕中学校は、守谷市が掲げております「未来の教育もりやビジョン2024 ニューノーマル2」のもと、学力向上・いじめゼロを重点施策として みんな「なかよく 明るく 元気に」みんなが幸せになるために自己実現できる新しい学校づくりに努めてまいります。保護者の皆様！年間よろしくお願いいたします。



☆1年生職員☆



☆2年生職員☆



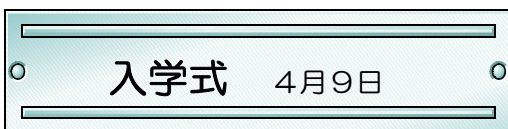
☆3年生職員☆



☆学年外職員☆

*裏面もお読みいただければと思います。

入学式・始業式での生徒たちのあいさつです。美しい言葉の中に強い思いが表現されていました。(一部抜粋)

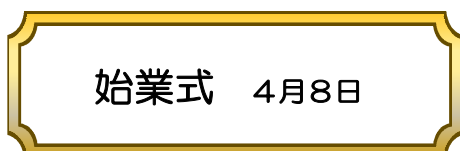


新入生代表誓いの言葉

・・・愛宕中学校には「時を守り 場を清め 人を敬う」という校訓があります。その中でも「人を敬う」ということを大事にしたいです。なぜなら、僕は小学校の時に**たくさんの人に支えてもらうことで成長できた**と思うからです。中学校でも友達への**思いやり**や、先生、先輩方への**感謝の気持ち**を忘れずに生活していきたいと思います。・・・

歓迎の言葉

・・・私は中学校に入学する時に「**たくさんのことに挑戦する**」という目標を立て今日まで生活してきました。この**節目の時期**は新たな目標を立てたり今までの自分を変えたりすることができます。中学校生活はこれから始まる3年間しかありません。3年間はあっという間です。辛いことも大変なこともあると思います。でもそれを乗り越えた時、その経験はその後の力になってくれます。仲間と共に **支え合い 励まし合い 笑い合える何気ない日常**を大切に中学校生活を思う存分楽しんでください。これから**皆さんと過ごせる時間を楽しみに**しています。・・・



新年度の目標

・・・「責任をもって行動する」・・・「仲間と協力する」・・・「努力することを忘れない」・・・油断しやすい時期だからこそ、**これからの自分がどう成長して、どんな学びを得るのか**、よりよい1年を過ごせるように、**現在の自分を見つめ直し、目標を立てて努力する事が大事**だと思います。・・・

がんばりたいこと

・・・「仲間と助け合いながら練習に励んだ部活動・・・残りの部活動の時間を大切にしていきたい」・・・「高校受験に向けた学習・・・何事もネガティブになるとうまくいきません・・・」・・・中学生**最後の1年間を全力で楽しみ**、自分の座右の銘でもある「**やらない後悔よりやる後悔**」を意識して積極的に行動していきたいと思います。・・・

生徒会報告

・・・今年度の生徒会活動で実施する2つの計画

① EISプロジェクト：生徒会ポータルサイトの作成、他学年との交流強化

これらの活動を実行していきながら、**主体性をもって楽しさと笑顔溢れる愛宕中学校を創っていく。**

② 生徒会組織の変更：学年・学級委員会の設置、美化委員会の設置

このように、**今までやってきたことを継承しながらも、新しい活動を積極的に取り入れていき、愛宕中学校全体が活気づくように、生徒会本部役員が先頭に立っていきます。**

最後に、始業式・入学式で生徒たちに私が語った生徒たちと大切にしていきたいことの一部です。お読みいただければと思います。

・・・今年 守谷市では 守谷市内の全ての学校のみなさんが「なかよく 明るく 元気に」生活していったほしいと願っています。みんなが なかよくて 一人ひとりが明るく 元気に生活できる学校は みんなが 安心して自分の力をのびのびと伸ばしていくことができますね。

さて、令和5年度の始めにあたり、私の今年の目標を話します。それは、「喜堵愛楽 EIS（エース）：主体性があり、楽しさと笑顔のあふれる愛宕中学校」となるために、生徒の皆さん、先生方、保護者・地域の皆様と共に「個が生き、七色に輝くしあわせな学校：生徒の皆さんが主語になる学校、学ぶ意義と楽しさを実感できる学校」にするということです。そのために私達が大切にしていきたいことを2つ話します。

1つ目は、学習や生活、部活動など様々な場面で「知る→考える→決める→創る→行動する」というサイクルを大切にしてほしいということです。（知る）皆さんの生きている世界は広くて、深くて、美しいです。まず、様々な人の生き方に触れ、話を聞き、多くの本を読み、ニュースを聞いたりしましょう。特に自分の知らない世界のことや自分と違う意見の人の話こそしっかり見たり、聞いたりしましょう。自分の周りには様々な世界や考えがあることを知りましょう。そして、様々な人との対話を重ねましょう。次のステップは（考える・決める）様々なことを知り、様々な人の考えを聞いたら、ていねいにじっくり考えて、自分なりの答えを自分で決断しましょう。大切なのは、自分で決めるということです。最後は、（創る・行動する）です。納得できる自分の答えを導きだし決断したら、勇気をもって新しいことに挑戦・行動し、新しい自分・新しい世界を創っていきましょう。この繰り返しのサイクルがみなさんを成長させ、大きくさせてくれます。

2つ目はみなさんに繰り返しお伝えしてきた「利他主義」という考えです。「他者を大切にする」ということです。自分の周りの人のこと、世界の人々の幸せを考え行動

すること、それが皆さん一人一人を含めた世界全体の人々の幸せ・成長につながっていくということです。例えば、私達が、節電をしたり、レジ袋を使わないようにしたりと地球温暖化の問題に取り組み、未来に安全で快適な環境を残そうとするのは、未来の世代が希望を持って生きられることが、現在の私達の将来にとっても有益だからです。困っていたり悩んだりしている人や友達に優しく手を差し伸べることは、自分の心の成長につながり、自分の居場所があたたかく過ごしやすいものとなります。ということです。

最後に・・・昨年度の修了式で、この場所で、みなさんに話したことを覚えていますか。思い出して・・・少し話しますね・・・。

「4月から、学年が1つ上がります。中学校生活は短いです。そしてこの短い時の流れの中でたくさんのことができ、皆さんは成長していきます。

東京の桐朋高校で行われた卒業式での答辞の中にあった「学ぶ意味なんて学びきるまでわからない。」「片方の翼だけでは、鳥は空を飛べません」という言葉です。

その言葉の意味を、私なりに考えてみると・・・「学ぶ意味なんて学びきるまでわからない。」は「自分自身でやりきったという充実感が得られるように・・・学習・部活動・習い事・・・全力で取り組みましょう。全力でやりきった充実感が得られたときにみなさんの心の中にその意味が腑に落ち、みなさんが成長したという実感が得られる。」「片方の翼だけでは、鳥は空を飛べません」一つの翼は自分の考え。もう一つの翼は、たくさんの人と本話し知りえたことを、自分の中に柔らかく取り入れていくこと。そしてみなさんが持ち得たその両方の翼を自由に使い行動していきましょう。ということだと思います。

さあ、新しいスタートです。今のみなさんは何色でしょうか。今みなさんに伝えたことを大切に、「七色に輝くしあわせな学校」「喜堵愛楽 EIS:主体性があり、楽しさと笑顔のあふれる愛宕中学校」を一緒に創っていきましょう。

